

活動レポート

青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会幹事 須田徹央

新合格者& U-35(若手世代)対象 研修会・ワークショップ 「こんな時、あなたならどうする？」

青年技術士交流委員会では、平成29年4月22日に“cafe&salon WHITE MUG”において、新年度最初の活動となる研修会・ワークショップを行いました。この開催概要等を以下にご報告致します。

1. はじめに

近年、政府が推進する一億総活躍社会の実現に向け「働き方改革」が議論されています。この改革を推進するうえで、『仕事と生活の両立＝ワークライフバランス』の実現が重要です。

仕事と自分の生活の狭間で悩む局面に遭遇した際に、どういう選択をするか……。どちらも社会人として非常に大切なものであり、難しい選択を迫られることもあります。

今回の研修会・ワークショップでは、これからの社会を担っていく技術士・技術士補新合格者と35歳以下を中心とした若手世代の交流を図り、みんなの経験や考え方を共有し、これから遭遇するであろう働くうえでの社会人のジレンマ問題を一緒に考えることを目的に開催しました。

2. クロスロードゲーム

今回のワークショップでは、昨年も好評頂いていたクロスロードゲーム(阪神・淡路大震災をきっかけに防災教育のツールとして開発された教材)を使ったグループワークを実施しました。

このゲームは、ある設問に対して各自がYesかNoで自分の意見をカードで示し、多数決によって勝者を決定するというものです。勝者はポイントとして座布団をもらうことができ、その数を競い合います。なお、少数意見も貴重であるという観点から、その意見が1人のみだった場合には、その人は「金

の座布団」が貰えるという仕組みです。

3. 活発な意見交換となったワークショップ

参加者の多くが初対面ということもあり、最初は各グループぎこちない感じでしたが、中前技術士によるワークライフバランスをテーマとして取り上げた背景の説明、高橋技術士のスムーズなファシリテーションにより、参加者同士で自己紹介を行うときには緊張も解け、和やかな雰囲気となっていました。



写真-1 ファシリテータ役の高橋技術士

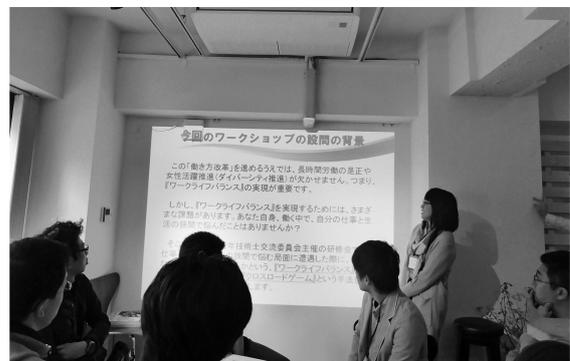


写真-2 背景を説明する中前技術士

例題と解説からスタートしたワークショップでは、活発な意見交換や笑い声が各々のテーブルから聞こえてきました。

以下に当日の設問を1つ紹介します。

「あなたは20代後半の若手社員です。地方の支店に配属されていましたが、昨年から単身赴任で東京に赴いています。東京での仕事はやりがいもあり、給料もそこそこ貰えています。そんなある日の夜、妻から『このまま単身赴任が続くなら離婚させていただきます』との突然の電話が。あなたは仕事と家族、どちらを選びますか？」

Yes：東京での仕事を選び、離婚する

No：家族を選び、田舎に帰る

このようなテーマでのワークショップを通じて、「様々な立場に立って考える」、「他人の意見を聞く・知る」、「自分の意見をわかりやすく伝える」ことの重要性を再認識できたのではないのでしょうか。

ちなみに、上記設問における当日参加者の解答は、Yes12名、No9名という驚きの結果でした。



写真-3 クロスロードゲームで座布団枚数を競う参加者

4. 意見交換会

ワークショップ終了後に実施した意見交換会(懇親会)では、各人の所属する組織等の垣根を越え、活発な交流が図られていました。



写真-4 意見交換会的一幕

5. おわりに

新年度最初の活動でしたが、参加者27名と多くの方に参加して頂きました。

ワークショップ、意見交換会ともに大いに盛り上がったと思います。筆者が一番楽しんだかもしれません……。

今年度の青年技術士交流委員会の活動は、「北海道の技術」をテーマとした講演会と、「技術力の向上」をテーマとしたテクニカルツアーを数回開催する予定です。さらに、技術士の社会的な認知度の向上に資することを目的とした技術系教育機関での技術支援活動を『技術者のミライ研究委員会』と協力して実施するとともに、全国との交流活動事業などについても継続していきます。

青年技術士である会員のみなさまが活発に交流し、技術力の向上に資する場を提供できるよう、幹事が一丸となって取り組んでいきますので、今後ともご支援・ご理解のほど、よろしくお願い致します。

青年技術士交流委員会 幹事メンバー募集！

青年技術士交流委員会は、青年技術士・技術者の交流・親交、研修等による資質向上等を目的として活動しており、様々な研修の企画・運営等へ向けて、まだまだ幹事の仲間を募集しています。ご興味をお持ちいただけましたら、下記メールアドレスまで、ぜひご一報下さい。

(seigikyo@ipej-hokkaido.jp)

もう、facebookをチェックいただけましたか？

青年技術士交流委員会では、facebook ページを開設し、講演会やテクニカルスクールといった研修会の情報及び開催結果を、随時発信しています。



facebook アカウントをお持ちの皆様、是非、下記ページをご覧ください、「いいね！」して下さい。

<http://www.facebook.com/seigikyohokkaido>